

第60回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成29年6月15日（木） 14：00－14：57
2. 場所：内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、遠藤委員、後藤委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員
 - (2) 政府側
宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、佐藤参事官、高見参事官、松井参事官、守山参事官、行松参事官
4. 議事要旨
 - (1) 中間取りまとめ案について
宇宙開発戦略推進事務局より説明を行い、了承した。委員からは以下の様な意見があった。
 - 本文書に盛り込まれている取組を実行するため、政府として予算を着実に確保していただきたい。
 - 宇宙基本計画の重点項目として、「安全保障確保」、「宇宙利用促進」、「産業・科学技術基盤の維持強化」があることを念頭に置きつつ、取組を進めていただきたい。
 - バランスの取れた内容で高く評価。安全保障確保は宇宙政策の柱の一つで、安全保障で培った技術は産業に応用できるなどの意義もあることから、今後も取組を強化すべき。
 - 今後、一つ一つの取組が大きな意味を持つてくることから、関係機関はリソースを割き、全ての取組を着実に実施することを期待する。
 - (2) 準天頂衛星「みちびき2号機」の打ち上げ結果について
宇宙開発戦略推進事務局より報告を行った。
 - (3) 自動運転用高精度三次元地図（ダイナミックマップ）の事業会社化について
宇宙開発戦略推進事務局より説明を行った。委員からは以下の様な意見、質問があった。
(以下、○委員からの意見、質問、●事務局からの回答)
 - 事故情報などの動的情報等はどのように入手しているのか。
 - 関係機関と調整して今後の入手の在り方について検討している。
 - カメラ活用と比べて、ダイナミックマップ活用によって、どの程度安全性が向上するのか。
 - カメラでは坂の向こう側など見えない箇所の情報を認識できないが、本システムを使用すれば情報を入手できる。
 - アジア圏において他社との連携はどうか。
 - 新会社は高精度な地図をつくるのが強みなので、他社と連携して標準化を目指していきたい。

以上